

ホームページへの掲載		
済	7月1日	掲載予定

## 岐阜県立揖斐高等学校

学校長 鈴木 英司  
学校住所 揖斐郡揖斐川町三輪1852番地 電話 0585-22-1261

- 1 会議の名称 学校評議員による会 (第1回)
- 2 会議の構成 委員 錦野 悦朗 様 揖斐高同窓会長  
杉山 洋子 様 揖斐川町社会教育委員  
服部 均 様 揖斐川町商工会長  
栗田 祐子 様 揖斐厚生病院看護部長  
石橋寿恵広 様 元揖斐郡小中校長会長  
  
学校側 鈴木 英司 校長  
赤坂 和之 教頭  
成瀬 圭子 主幹兼事務長  
大平 隆司 教諭 (教務主任)  
和田 摂子 教諭 (生徒指導部長)  
下野 正人 教諭 (進路指導部長)
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成28年6月8日(水) 13:20~15:00 揖斐高校 校長室  
委員4人(錦野様が公務のためご欠席)と学校側5人(下野が出張のため)が欠席
- 5 会議の概要

### (1) テーマ 揖斐高校の現状と今年度の取組について

学校側 2年生普通科ビジネスコースの「社会と情報」及び2年生活環境科和装コースの「課題研究」(着付け)の授業を参観していただいた後、資料に沿って学校長から「指導の重点」、各分掌から現状と課題、今年度の取組等を説明した。

意見1 「社会と情報」の電卓を使用した授業を参観したが、簡単な計算にとまどっている生徒がおり、改めて基礎学力の重要性を垣間見た。一方和装コースの「課題研究」の授業では、みな熱心に取組んでおり感心した。日本の伝統的な着付けや所作を学ぶことができ、学んでいる子たちは幸せだと感じた。繰り返す必要がある。最後には生徒の自信にもつながる。昨年度の学習成果発表会の福祉コースの発表でも学んだことが生かされていると感じた。是非継続してほしい。

意見2 多種多様な授業があることに驚き、うわさには聞いていたが実際にしてみても、実践的な授業ができていることに感心した。学校の規模が小さいのは、目が行き届き安いという利点がある。言葉遣いや挨拶などもしっかり指導されている。部活動の頑張りも頼もしい限りだ。これからは環境の変化に対応した指導、特に情報セキュリティの指導が必要である。今夏には参院選もあるが、若者にあれこれ要求する前に、大人自身が襟を正し見本とならなければならない。

意見3 外部の専門家を招聘するなどの教育相談体制の充実や、「デュアル実習」などへの取組を興味深く聞いた。若者は心身ともに健康であることが大切だが、精神面への気配りができていると感じた。せっかく就職できても精神面で挫折してしまう子も多く見てきたが、悩んでいる子の悩みにいかに早く気づき救い上げてやるかが重要である。廊下からではあったが、福祉コースの充実した施設も見ることができた。介護士の延長上にある看護師もぜひ目指してほしい。

意見4 地元在住で付近をよく通行するが、10年前と比べて格段と良くなっている。学力不足の生徒については、懇切丁寧な指導が大切である。学校の活性化には新聞の掲載やHPの充実が大変良い手段である。地域の中高一貫校としての独自のスタイルを確立し、存在価値を高めることが重要である。そのためには地元企業へ就職できるとよいが、いかに門戸を開いたらよいか。コミュニケーション能力を高めるために「話す力」に重点を置いた教育を充実してほしい。

## 6 会議のまとめ

地域の中学校はもちろん、あたたかく見守っていただいている地域の方々にも本校の魅力をより具体的に発信していくことが必要だと感じた。

また、評議員の皆様からいただいた様々なご提言については、職員会議などで周知徹底を図るとともに、関係機関とも連携し、再度のご助言を仰ぎながらより一層の充実を図っていきたい。